

盛岡広域振興局と管内市町が、国の「少子化対策地域評価ツール」の手法で、地域の実情に応じた人口減少対策を検討するワークショップを実施し、「地方創生交付金」等を活用した事業実施を推進する。令和7年度に実施した2町（葛巻町・岩手町）については、本格的な事業展開に向けたフォローアップを実施する。

人口減少対策を検討するワークショップ及び調査実施体制

市
町

- 庁内メンバーの選定・確保（部局横断的な体制※の構築）

※ 地方創生担当、子育て支援担当、移住・定住担当、企画財政担当等の中堅・若手職員
- ワークショップへの参加、庁内での情報共有（首長・管理部門）
- 主観調査への参加（インタビュー対象者選定、日程調整等）

伴走型支援

県
振
興
局

- ワークショップへの参加、議論活性化
- 市町の政策形成に係る助言
- 事業予算化、事業構築、交付金活用の助言や申請資料作成支援
- 情報提供（県施策、他自治体事例、統計データ等）

委託事業者

- ワークショップの全体運営、課題分析の補助
- インタビュー調査等の実施
- ワークショップで使用する資料の作成、実施状況報告書の作成
- 令和7年度実施2町に対するフォローアップの実施

【伴走支援先】

【R8新規】八幡平市・東石町・紫波町

【R7～継続】葛巻町・岩手町

A市

B町

C町

伴走支援チーム

- 盛岡広域振興局の職員により構成。
- チーム構成員で担当市町を分担し、ワークショップに参加。
- チーム内で、支援町村における地域特性、地域課題、検討状況等を共有しながら、各市町をサポート。

少子化対策地域評価ツールとは？

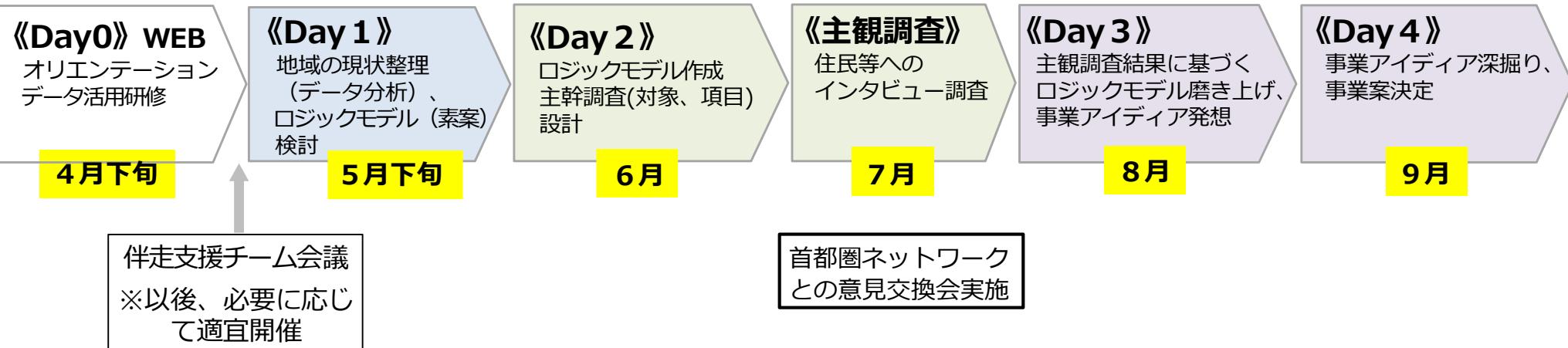
（内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が2020年3月に策定、2023年3月改訂）

地域特性を分析し、少子化対策の課題と改善策を評価するアプローチ手法を体系化した指針

令和8年度地域課題分析型人口減少対策支援事業 実施イメージ

(1) R8新規3市町（八幡平市・雫石町・紫波町）

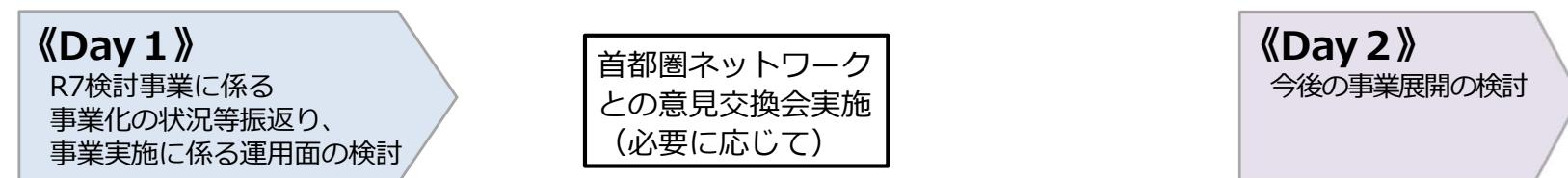
人口減少対策検討ワークショップ／主観調査（4月～9月）



R9事業予算化・実施
「地方創生交付金」を活用した実施を目指す

(2) R7継続2町（葛巻町・岩手町）

人口減少対策に係るフォローアップ（5月下旬以降～随時）



【振興局】ワークショップ伴走支援チームの取組内容

【研修／チーム会議への参加】 <ul style="list-style-type: none">○ ワークの趣旨、議論活性化のポイントの共有○ 各市町の課題や検討状況等の共有	【ワークショップへの参加】 <p>A町</p>	【チーム編成】 <ul style="list-style-type: none">○ 1市町当たり2人×3市町=6人○ 経営企画部 4人程度○ 稽察部、保健福祉環境部、農政部、林務部、土木部 1～2人程度 【事務局】企画推進課2人 ※局長、副局長も参加
--	-----------------------------------	---